

ほっとにゅーす

このコーナーは、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介するページです。
あなたが知っている旬の話題などがあれば、企画広報課 広報広聴グループ（☎65-6504）まで事前にお知らせください。

9/13(水)



ライフ夢 起工式

しょうがい者日中通所施設「(仮称)ライフ夢(富田町)」の起工式が、実施主体である社会福祉法人湖北会主催のもと開催されました。
あいさつに立った赤井理事長は、地元自治会をはじめ各関係者への感謝や、今後の取り組みについての熱い思いを述べられました。なお、この施設は平成24年4月開設予定です。

9/11(日)



建築学生ワークショップ

NPO法人アートアンドアーキテクトフェスタ(AAF)が主催するワークショップに、全国22の大学から建築やデザインを学ぶ学生たちが集まりました。
会場となった竹生島が持つ独自の雰囲気や、カワウの害などの課題点を解決できるオブジェなどを、チームのメンバーで協力しながら制作しました。

9/1(木)
9/2(金)



速水八朔大祭

湖北町速水 伊豆神社において、八朔大祭が開催されました。今年は、東日本大震災からの復興を祈念して、3年ぶりに青物神輿を奉納し、賑やかなお祭りとなりました。男たちが青物神輿を担ぎ、掛け声とともに練り歩くと、その勇壮な姿を一目見ようと、沿道に大勢の人があふれました。

9/16(金)



国友一貫齋の考案品を贈りました

火縄銃が縁で、友好都市である鹿児島県西之表市に、国友一貫齋科学技術研究会より、一貫齋の考案品である「玉燈(複製)」、「懐中筆(複製)」が贈られました。
これらの品は、友好の証、そして交流の証として種子島開発総合センター(鉄砲館)に展示されています。

9/16(金)



入館者数が過去最高に

江・浅井三姉妹博覧会の入館者数が、市内で開催した博覧会の最高に達しました。
記録を更新し、82万3101人となったのは宮城県から訪れた鍛屋さん一家です。秀吉に扮した藤井市長や、長浜歴ドラ隊の「江」をはじめ、ゆるキャラたちもお祝いにつけ、花束や三姉妹記念グッズを手渡しました。

9/10(土)



糸とり体験

地域の伝統産業である養蚕について多くの人に知らせてもらうため、浅井歴史民俗資料館とあざい歴史の会が開いた「糸とり体験」教室。かつて盛んにおこなわれた「糸とり」も今ではすっかり珍しくなっていました。
参加者たちは、蚕の繭から糸をつむぐ「糸とり」の様子を見学した後、悪戦苦闘しながらも実際に「糸とり」を体験しました。

9/2(金)



ご長寿をお祝いして

男性で市内最高齢の勝木新藏さん(大浜町)の長寿をお祝いするために、藤井市長がご自宅を訪問し、市民を代表してお祝いの言葉と祝賀品を贈呈しました。
勝木さんは、明治38年生まれで、今年の4月に106歳を迎えられました。
健康の秘訣は、なんでも食べることだそうです。これからもお元気で長生きされることを願っています。

日本市民スポーツ連盟認定大会 健やか爽やかウォーク日本1800長浜・米原・関ヶ原大会 浅井三姉妹 街道ウォーク



博覧会認定キャラクター「浅井三姉妹」と「なごまちゃん」「おいちごちゃん」がお出迎え

波乱と苦難の戦国の時代を力強く、そして美しく駆け抜けた浅井三姉妹。その姫たちの物語にふれてみませんか。
2011年大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」の舞台の地を歩きます。コースは2つ。40kmと15kmです。

【と き】11月3日(祝) 小雨決行
【集合場所】〈40kmコース〉7時30分 関ヶ原町和ざみ野広場
〈15kmコース〉11時 長浜駅西口

【参加費】2,000円(40km)、1,000円(15km) ※昼食、保険代等込
☆コースや申込方法など、詳細はホームページ (<http://www.azai-go.jp/>) で

【申込】浅井三姉妹ゆかりの地ウォーク実行委員会事務局(☎63-5341)



9/11(日)



外来魚釣り大会

余呉湖に生息するワカサギやモロコなどの在来種を食べてしまう外来魚。「みんなで外来魚を釣って豊かな余呉湖を取り戻そう」を合言葉に、親子連れを中心に170人が釣り大会に参加しました。4時間で29.4kgのブルーギル、ブラックバスが釣り上げられ、その多さを目の当たりにした参加者は、在来種を脅かす外来魚の数を減らしていくことの大切さを感じていました。

9/10(土)



稲刈り収穫体験

JALレーク伊吹とイオン長浜店の共同企画で、口分田町の田んぼを会場に稲刈り収穫体験が行われました。今回は藤井市長も稲刈りに参加し、子どもたちと一緒に汗を流しました。
稲刈りが終わると、今年の新米を使ったおにぎりが配られ、参加者らは、おいしそうにほおばっていました。
なお、今回収穫されたお米は、精米し、後日子どもたちに配られるということです。